

建設工業新聞

2022年7月6日 (水)

4面に掲載

土木と建築・バイオマス深化へ

福井県木材利用研究会が総会開く 福井市合島



第1回定例研究会

福井県木材利用研究会(吉田雅穂会長)の20



吉田 雅穂 会長

22年度総会は6月27日開催され、任期満了に伴う役員改選では吉田会長を再任し、21年度の事業報告や22年度の事業計画案などを原案通り審議了承した。総会の会場は、福井市合島の具嶺北木材産協同組合で。

役員の方々(敬称略)

- 会長 吉田雅穂 福井工業高等専門学校
- 副会長 ⑧右佐礼三 福井県木材組合連合会
- 幹事 ⑨油屋昌宏 ABコーポレーション
- ⑩伊内是成 美山町森林組合
- ⑪梅田祐一 デルタコンサルタント
- ⑫小澤聖輔 マーベルコーポレーション
- ⑬塩田崇野村崇 福井県総合グリーンセンター
- ⑭藤田貴準 福井県建設技術公社
- ⑮藤田博行 清技研
- ⑯渡辺仁一
- 会計幹事 勝山義史 飛鳥建設
- 監事 由田昭治 エコプランふくい
- 土木系分科会 主査 吉田雅穂 副査 梅田祐一
- 建築系分科会とバイオマス・安定供給分科会 主査 伊内是成 副査 小澤聖輔

吉田会長が挨拶。建築系分科会と、バイオマス・安定供給分科会の合同開催など、研究の深化を一層図る意向を示した。

22年度も、3つの分科会で研究を継続。土木系分科会では、丸太杭工法のマニュアルと設計シートの改訂(エクセルによる設計シートで利用者の意見を聞き進める)、軌道に対する丸太杭工法の適用(えちぜん鉄道が実施する軌道調査結果を基に、試験施工地点での丸

太打設の影響を調査)など、今年度から事務

継杭の設計・施工方法に関する研究(江古川輪中堤工事の設計・施工業者にヒアリングなど)、丸太杭工法の軟弱地盤対策に関する講習会(11月予定)を開催する方針。一方、建築・バイオの合同分科会は、需要と供給の情報共有不足が課題をテーマに方策を探る。

同は福井市合島の県木材組合連合会内(岩佐礼三事務局長)に置く。活動場所は、具嶺北木材産協同組合(具嶺北木材会館)や県建設技術公社、県測量設計業協会、県工業技術センターの会議室を利用するとして。総会後、第1回定例研究会として国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所関西支所長の桃原郁夫氏による「木製構造物の腐朽とその防止」と、飛鳥建設土木本部グリーンインフラ部環境ソリューション担当部長の沼田淳紀氏による「CLTの軟弱地盤対策利用の試み」を聴いた。